

欧州特許庁（EPO）、品質行動計画2024を公表

2024年4月5日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2024年3月18日、2024年3月8日に公表した品質ダッシュボードに続いて、初めて品質行動計画2024を発表した旨、ニュースリリースにて公表した。

本ニュースリリースによれば、品質行動計画2024は、特許付与プロセスの各段階におけるEPOのサービス等の品質をさらに向上させ、ユーザーとの対話を強化し、審判部の判断からの学びを強化するための目標を定めたものであり、品質とユーザー満足度に関する最新情報を定期的に提供することにより、全ての利害関係者に対する透明性を高めるもの、としている。

1. 品質ダッシュボードについて

品質ダッシュボードは、明確に定義されたKPIに基づき、品質とユーザー満足度に関する最新情報を四半期ごとに提供することで、透明性を高めるものであり、「サーチ・見解書」、「審査」、「異議申立」、「デジタル化」の категорияに分けられており、それぞれの category では以下の項目が重要業績評価指標（KPI）とされている。

<サーチ・見解書>

- ・ サーチにおける品質監査¹において、新規性又は進歩性の判断が適切でないと判断された割合（2024年の目標値は5%未満）
- ・ サーチにおける品質監査において、より関連性の高い先行技術文献が発見された割合（2024年の目標値は4%未満）
- ・ ユーザー満足度調査²において、サーチに関して「良い」又は「とても良い」と評価された割合（2024/2025年の調査での目標値は80%以上）

<審査>

- ・ 特許付与における品質監査において、クレームされた発明の技術的特徴や技術的効果、先行技術文献を適切に評価しておらず、新規性又は進歩性に関してより関連する先行技術文献が発見された割合（2024年の目標値は5%未満）、
- ・ 特許付与における品質監査において、新規事項の追加と判断された割合（2024年の目標値は5%未満）

¹ サーチ及び特許付与については、ランダムサンプリングで品質監査課（Directorate Quality Audit）がユーザーへの発送前に実施する。

² ユーザー満足度調査は、EPOが2年毎に行っている調査であり、最新の調査は2022年9月から2023年4月に、電話やメール等により実施された。調査項目は「出願」、「サーチ」、「審査」、「異議申立」、「オンラインサービス」、「ユーザーサポート」等が含まれる。

- ・ ユーザー満足度調査において、審査に関して「良い」又は「とても良い」と評価された割合（2024/2025年の調査での目標値は80%以上）
- ・ 審判部での査定不服審判の決定に関して、2024年末までに新たなKPIを策定予定

<異議申立>

- ・ 異議申立に関する審決に関して、2024年末までに新たなKPIを策定予定

<デジタル化>

- ・ ユーザー満足度調査において、オンラインサービスに関して「良い」又は「とても良い」と評価された割合（2024/2025年の調査での目標値は91%以上）

2. 品質行動計画2024について

品質行動計画2024は、特許付与プロセスの各段階におけるEPOのサービス等の品質をさらに向上させ、ユーザーとの対話を強化し、EPO審判部の判断からの学びを強化するための目標を定めたもの。主な内容は以下のとおり。

①2023年の実績

<スタッフの採用と育成>

- ✓ 100名の審査官を含む合計138名の意欲的で熟練した人材を採用
- ✓ 200名の審査官を対象とした最新の6G技術に関する研修
- ✓ 1,500名の審査官を対象としたサーチツールANSERAに関する研修
- ✓ 統一特許裁判所（UPC）や各国の裁判官、審判部メンバーによる講演等

<ツールとデータベースの改善>

- ✓ データベースの先行技術文献の件数が1億4,600万件（2023年4月）から1億5,300万件（2024年1月）に5%増加
- ✓ サーチツールは、ビューアの機能性等を向上させ、さらに、AIによるプレサーチ機能を追加
- ✓ 新しいデジタルファイル割当てツールを導入し、全ての出願を適切な審査官と審査室に割当て
- ✓ MyEPOポートフォリオの新しい共有エリアでは、審査官と代理人が共同でファイルを閲覧し、作業が可能

<完全で正確なサーチ>

- ✓ 2023年11月1日以降、全てのサーチ及び見解書について、3名の審査官やチームマネージャーが関与
- ✓ 審査官コミュニティ全体で問題を特定し、進捗状況を追跡することを可能にする実務調和ダッシュボードを立ち上げ
- ✓ 審査部の8つの技術コミュニティ全体にわたって、明細書とクレームの一致に関する実

務に対するアプローチについてレビューが行われ、必要に応じて研修の実施、ガイド
ンスを提供

<ユーザーとの対話>

- ✓ 出願件数上位出願人やユーザー団体との約50のミーティングを実施
- ✓ 拡大したステークホルダー品質保証パネル（SQAP）において、欧州弁理士と協力し、
無作為に選んだ案件のサーチ、中間手続、特許付与の品質を評価
- ✓ ユーザーデイに記録的な1万人以上が参加

<品質監査の結果>

- ✓ 新規性又は進歩性に関連する監査結果の傾向（9.5%から7.9%へ減少）は、監査対象の
特許付与において肯定的
- ✓ サーチと見解書の品質は安定して高いレベルにあり、より関連性の高い先行技術文献
が発見されたケースはわずか4%
- ✓ 毎年異議申立の案件を監査しているわけではないが、2022年の監査では、監査する者
が異議部の決定に同意しなかったのは100件中わずか4件

②2024年に向けた品質目標

1. サーチと見解書

<ツールの強化>

- ✓ AIのプレ分類をさらに発展させる
- ✓ AIを活用したファイル割当て（デジタルファイル割当て）で90%の精度を実現
- ✓ AIによる分類の精度を90%に高め、全体の分類精度を95%とする
- ✓ アジアの文献への審査官のアクセスと引用の強化

<人材育成>

- ✓ アカデミア、産業界、見本市を通じた最新の技術スキルの獲得
- ✓ ツールの機能をフルに活用し、利用率100%（現在93%）を達成するためのANSERAト
レーニングの実施

<活動強化と実務の調査>

- ✓ 明確性等の他の要件と同様に新規性及び進歩性の評価の更なる強化
- ✓ 拒絶理由を克服する方法の提案

2. 審査

<人材育成>

- ✓ ベストプラクティスと改善すべき点を説明するための事例に関する議論

- ✓ 異議申立人、審判部、統一特許裁判所、国内裁判所、ユーザー、SQAP等からのフィードバックを通じた学習の強化
- ✓ 品質監査の対話にチームマネージャーが参加

<活動の強化と実務の調和>

- ✓ 新興技術に対する調和の取れたアプローチを確保するため、コンピュータ利用発明（CII）およびAIの専門家を関与させる
- ✓ 構造化された見解書の活用
- ✓ 第三者情報提供の取扱いに関する実務の一貫性に関する内部調査の実施
- ✓ 実務調和ダッシュボードを使用してハーモナイゼーションの影響をモニタリング

<パートナーシップの強化>

- ✓ MyEPOポートフォリオにおける共有エリアの利用状況と影響を追跡

3. 異議申立

- ✓ 審判部の審決から学ぶべき分野を特定し、判例法コミュニティ（CoP）やiLearnイベントなどを通じて認識を高める
- ✓ 異議部の決定を却下した審決の分析
- ✓ 異議申立における構造化された見解書の導入、証拠と提出書類の標準化等
- ✓ 不明確なクレームをどのように解釈したかを決定において説明
- ✓ 審判部との質の高い対話の枠組みを強化
- ✓ ユーザーとの緊密な協議により、基準をさらに明確化

4. ユーザーとの対話

- ✓ ハイレベル及びテクニカルな、組織および出願人レベルでの会合のプログラムを提供
- ✓ ステークホルダーに対し、実施されている品質への取組みと予想される改善について、透明性をもった説明
- ✓ 次のユーザー満足度調査を準備する際に、SACEPOの品質に関する作業部会からのフィードバックを取入れる
- ✓ オンラインツールの開発を継続し、ユーザーが使い方を習得できるようサポート
- ✓ 欧州資格試験（EQE）、欧州特許管理者資格（EPAC）等の専門能力開発の近代化

EPOの品質行動計画は、これまでEPO内部での共有に限定されていたところ、今回初めて一般に公開され、翌年の品質に関する目標と行動が示された。近年、EPOは、特許品質憲章を公表する等、ユーザーに向けた品質の透明性向上に注力している。2024年末までに、審判部の審決と関連して、審査及び異議申立に関して新たなKPIを作成するとされており、引き続き注目していきたい。

ー EPO のニュースリリース等は、以下参照 ー
(品質行動計画 2024 に関するニュースリリース)

[Quality Action Plan 2024](#)

(品質行動計画 2024)

[Quality Action Plan 2024](#)

(品質ダッシュボードに関するニュースリリース)

[Quality dashboard goes public](#)

(品質ダッシュボード)

[Quality dashboard](#)

(ユーザー満足度調査 2022/2023 の結果)

[Results of the 2022/2023 user satisfaction surveys](#)

(以上)